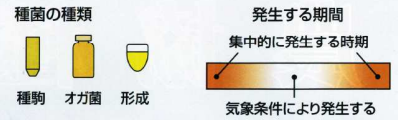


収量・品質・美味しさを
追求した優良品種

菌興号種菌

菌興号種菌の総合カタログです。
栽培・経営にお役立て下さい。



乾用品種 栽培形態・種菌種類	発生状況と形質			発生タイプ 発生温度 成長温度	発生時期				品種の特性							
					西：西日本や低暖地 東：東日本や高冷地											
					10	11	12	1		2	3	4				
115 露地栽培 ハウス栽培	乾 (生)				低中温 (冬春型) 8℃以下 8~16℃	東										<ul style="list-style-type: none"> ・超厚肉美味の「ジャンボしたけ」で有名な品種。高品質のどんこ。厚肉が採れる。 ・晩秋は、ほた場の最低気温が8℃以下になる頃から発生が始まる。春は、ほた場最高気温が10℃~13℃位の日は長く本格的に発生する。 ・種駒の場合、発生最盛期は種駒の日齢晩秋~春、形成の場合、種駒から発生しやすい。 ・冬期間に、ハウス栽培、袋かけ、ビニール被覆などで成長促進すると大型のきのこになる。
141 露地栽培 ハウス栽培	乾 (生)				低中温 (冬春型) 8℃以下 8~16℃	東										<ul style="list-style-type: none"> ・「厚肉」きのこで肉質が硬い。 ・115号よりも発生個数が多くやや小振りで、気温が高くなっても育ちが良い。 ・栽培特性は115号に準ずる。 ・形成菌を植えると種駒年から良質のきのこが発生する。 ・浸水や散水によって発生しやすいので、冬期間のハウスシイタク栽培に適する。
169 露地栽培	乾				低中温 (冬春型) 8℃以下 8~16℃	東										<ul style="list-style-type: none"> ・中肉で大型、傘周縁の巻き込みが強く、欠けにくい。ヒタが美しく市場評価が高い。 ・発生は、ほた場の最低気温が8℃以下で始まり、5℃以下の低温刺激を受けると多くなる。春は、最高気温が10℃以上の日が続くと始まる。 ・発生最盛期は3年ほど木である。ほた場寿命が長く、古ほたたにも、発生量が落ちにくく、きのこが大きい。 ・ほた場は冬の風当たりが弱く、暖かい場所が適する。
170 露地栽培	乾				低中温 (冬春型) 8℃以下 8~16℃	東										<ul style="list-style-type: none"> ・中肉で大型、傘周縁の巻き込みが強く、ヒタの仕上がりが美しい。 ・どんこからこうしんまで幅広い品種が採れる。 ・栽培特性は169号に準ずる。 ・発生最盛期は3年ほど木である。 ・ほた場は、暖かくて、やや湿度の高い場所が適する。 ・古ほたたからも大型で良質のきのこが採れる。
193 露地栽培	乾				低中温 (冬春型) 8℃以下 8~16℃	東										<ul style="list-style-type: none"> ・中肉で大型、傘は円形、丸山型。 ・ヒタは密で美しい。 ・どんこからこうしんまで幅広い品種が採れる。 ・晩秋の発生は、ほた場の最低気温が8℃以下になる頃から始まり、5℃以下の低温刺激を受けると多くなる。春の発生は、ほた場最高気温が10℃以上の日が続くと始まる。 ・発生最盛期は3年ほど木である。ほた場の寿命が長く、古ほたたにも、発生量が多く、きのこが大きい。
240 露地栽培 ハウス栽培	乾 (生)				中低温 (春秋型) 11℃以下 8~18℃	東										<ul style="list-style-type: none"> ・傘周縁の巻き込みが強く、どんこからこうしんまで幅広い品種が採れる。 ・種駒2年目の秋11℃以下の最低気温の日が数日続くと発生が始まるので、この時期にほたた起こしを行う。 ・2年ほたたの秋の発生比率は、通常年で30%程度。暖冬年には、晩秋から春まで分散に発生する。 ・ほた場は、暖かくて、やや湿度の高い場所が好適である。環境適応幅が広く、多収量。
327 露地栽培 ハウス栽培	乾 (生)				中温 (春秋型) 14℃以下 8~20℃	東										<ul style="list-style-type: none"> ・中肉で中葉~大葉、巻き込みが強くバシにくい。大型のこうしんが採れる。 ・種駒2年目の秋、14℃以下の最低気温の日が数日続くとほたた起こしをすて集中発生する。 ・秋発生が多い品種で、秋は1~2回の発生ピークがある。冬から春にかけては分散発生する。 ・環境適応幅が広く、ほたた一木の収量が多い。
324 露地栽培 ハウス栽培	生 (乾)				中温 (春秋型) 14℃以下 8~20℃	東										<ul style="list-style-type: none"> ・肉質が極めて硬いので、独特の歯ごたえがあり美味しいと好評。 ・最低気温が14℃以下の日が続くと発生が始まるので、この時期にほたた起こしを行う。 ・秋から春まで分散発生する。 ・風干力が強く、1年目から走り子が発生する。 ・ほた場はやや湿度の高い場所が適する。
101 露地栽培 ハウス栽培	乾 (生)	種菌種類			低中温(冬春型) 8℃以下 8~16℃	東										<ul style="list-style-type: none"> ・傘は円形、丸山形。 ・肉質硬く雨すとろろにくい。 ・最低気温が8℃以下の日が続くと発生が始まる。
241 露地栽培 ハウス栽培	乾 (生)	種菌種類			中低温(春秋型) 10℃以下 8~16℃	東										<ul style="list-style-type: none"> ・ヒタ色の仕上がりが極めて美しい。 ・ほたた作りが比較的容易で、最低気温が10℃以下の日が続くと発生が始まる。 ・環境適応幅は広い。

生用品種 栽培形態・種菌種類	発生状況と形質			発生タイプ 芽出し温度 成長温度 好適湿度	使用時期												品種の特性			
					ほた年齢															
					5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4				
697 浸水 ハウス栽培	生				高中温(周年型) 13~18℃以下 13~28℃ 75~90%	1年	※1年目はオガ菌形成菌に限る 条件が揃えば使用可能												<ul style="list-style-type: none"> ・傘は円形、丸山型で色調は明るい褐色。 ・肉質が硬く、足や傘の腰が高い。 ・ヒタは美しく、市場性が高い。 ・形成菌を多乳菌とし、ほたた化をすめれば種駒年の使用が可能。 ・夏に強い品種、真夏でも、発生量や品質が落ちにくく、厚肉のきのこが採れる。 ・冬季の休養や事前管理のためには15℃以上の温度を確保する。 	
702 浸水 ハウス栽培	生				高中温(周年型) 13~18℃以下 13~28℃ 70~90%	1年	※1年目はオガ菌形成菌に限る												<ul style="list-style-type: none"> ・傘は円形、丸山型、色は茶褐色。肉は厚く、腰切れが強い。 ・形成菌を多乳菌とし、ほたた化をすめれば種駒年の9月中旬以降の使用が可能。冬季に保温、保湿すれば、周年栽培が可能である。 ・休養中散水によって芽数を増やしやすいう産型の品種。 ・湿度は697よりも若干低めに管理する。梅雨時期など多湿時には、換気によってハウス内湿度を下げる。 	
706 浸水 ハウス栽培	生	種菌種類	発生タイプ 高中温(周年型)	芽出し温度 13~18℃以下	成長温度 13~30℃	好適湿度 70~90%	1年	※1年目はオガ菌形成菌に限る												<ul style="list-style-type: none"> ・傘は円形、丸山型、色は茶褐色。肉は厚く、腰切れが強い。 ・形成菌を多乳菌とし、ほたた化をすめれば種駒年の9月中旬以降の使用が可能。冬季に保温、保湿すれば、周年栽培が可能である。

きのこ種菌の拡大培養は種菌法により固く禁じられております。